

第2回学校協議会

日時：平成26年11月18日（火）
午前10時～午前12時
会場：校長室

〈 会 議 録 〉

1 開 会 事務局長 教頭 田畑 匡

2 会長挨拶 会長 木村 寛仁

（再編整備計画による）閉校が発表されましたが、これまで音楽大学とも連携してきたこともあり寂しい思いがします。これからのことについて皆さんと相談していききたいと思います。

3 校長挨拶 校長 辻 芳之

日頃からのご協力、ご支援ありがとうございます。今日は今年度のこれまでの学校経営計画に従った取り組みを中心に進捗状況について説明させていただき、それらについてご意見をいただければと思っています。

4 議 事

（1）大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成26年度実施対象校（案）について

校長より、本年度9月3日に開かれた教育委員会会議において示された上記案について教育委員会から発表された資料を基に説明し、同時に本校の定員割れについての分析とこれまでの定員確保の対策について説明した。

〈協議会委員の意見・提言〉

○まだ存続の可能性があるのならば、存続に向けて運動をしていきたい。「守る会」の活動をととして一緒に活動してくれた生徒の意識も変わった。何事にもあきらめないという姿勢を示すことで、少しでも刺激になればいい。

○大学で本校卒業生の2名のレッスンを見ている。池田北高校出身のOBも大勢いる。大人がこのことをスルーする態度はよくない。本校生出身の音楽家のプロも育っている。

○マスコミが本校の存続への取り組みを取材してくれている。一致団結していこうといういい形ができています。

○中学生の進路の選択肢が減り、保護者の方々も心配している。今後どうなるかという具体性がなく中学校の現場では混乱している。今後の情勢が分析しにくい。

○生徒数が減り少ない人数でも、教育を充実させるべき。常に就職（内定）率100%であり、学校を残すべきである。

○地元の細河地区で中学校を存続していくために、来年度から小中一貫校がスタートする。池田北高校がなくなると、町の活性化がなくなり大きな問題である。将来バスの便が減ったり、若者が町から出ていったりすることが危惧される。

（2）平成26年度の取り組みの進捗状況及び改善点等について

校長より、本年度の取り組みの進捗状況についてパワーポイントを使って説明した。

（本校の主な特徴）

○ 学校行事や部活動の充実

①体育祭 3年生のクラス編成を2クラス規模のところを3クラスに展開して3年生－

2年生－1年生の縦割りの3団を編成、期待通りの盛り上がりを見せた。応援団旗、壁面デコなど伝統が継承されている。

- ②文化祭本年度は特に1日目のオープニング行事が充実していた。生徒の満足度は高く、先生の評価も高かった。2日目の一般開放では、保護者や卒業生、地域の方の来場が例年の約1.5倍の参加者があり盛り上がった。PTAの展示や模擬店も充実していた。
- ③陸上部が高跳びで近畿大会出場を果たした。テニス部が部員全員が1勝以上の目標を達成している。バドミントン部が個人戦で3回戦まで進出した。野球部が公式戦では敗れはしたが力をつけており、練習試合では勝率を上げている。
- ④音楽では、コーラス部が大阪府合唱祭に参加したのをはじめ、第1ブロック音楽祭、大阪府高等学校芸術文化祭などにも参加予定である。
- 高大連携の強化
 - ①現在高大連携協定を締結している6校との連携強化の促進を図り、今年度梅花大学の新設学科に関して追加の協定書を締結した。
 - ②大阪音大との連携でクラリネットの公開講座やギターの特別公開講座の開催したのをはじめ、新たな連携講座を実施した。今年度初めて青山大学の歴史博物館での書道Ⅲの授業やPTAとの共催で大手前大学のグランフロントでの講習会を開催した。今後もいくつかの講座の開催を予定している。
- 地域連携活動（ボランティア活動）の促進
 - ①特別養護老人ホーム「ポプラ」において、弦楽部が室内のホールでオープニング演奏を行い、ダンス部が屋外のイベントスペースでダンスを披露した。
 - ②伏尾台夏祭りにおいて、吹奏楽部の演奏、生徒有志がゲームコーナーや細川地区の特産品野菜の販売を行った。
 - ③東山作業所まつりでは、生徒有志がみたらし団子の販売やスーパーボールすくい、輪投げなどのゲームコーナーを担当した。
 - ④池田市子育て支援課と協力して、本校において乳幼児とその保護者を招いての「のびのび広場」を開催した。年に3回実施の予定で、前回の9月には3年生のフードデザイン選択生と「アレルギー食材を除いたパフェづくり」を楽しみ、今回は幼児教育をめざす生徒を中心にメニューを考え、創作のゲームや絵本の読み聞かせなどを行った。
- キャリア教育の充実（インターンシップなど）
 - ①インターンシップでは、現在まで例年以上の29名の参加があり幼稚園、保育所、ペットショップなど希望職種での職場体験実習を行った。
 - ②現在すでに就職内定率は90%を超えている。今年は特に能勢電車、阪急電車、阪急阪神ホテルズ、トヨタカローラ新大阪など大手の会社に多数就職が内定した。
- 音楽専門コース説明会ならびに学校説明会の充実
 - ①音楽専門コースの説明会を池田市民文化会館イベントスペースを中心に行った。当日は音楽の模擬授業、楽器や声楽のワンポイントクリニック、本校生徒によるデモ演奏などを行った。関西テレビの取材があり、本校の音楽専門コースについての特色やその取り組みについて高い評価のコメントもいただいた。
 - ②学校説明会では例年とほぼ同じくらいの中学生・保護者の参加者がある。（再編整備計画が発表されたが）
 - ③中学校への出前授業で、箏楽や楽器のワンポイントクリニック、模擬授業などすでに4校に出向いての授業を行った。今後も予定している。
- 今年度のマレーシア海外研修報告

マレーシアは日本を手本に発展した国であり、日本とも親密な関係が続いている。宗教も国教のイスラム教をはじめ、信仰の自由が認められており、仏教、ヒンズー教、キリスト教などの様々な宗教があり、仲よく1つの国家を作り上げており世界の手本ともなる国である。新行政都市プトラジャヤを都市郊外に造り政府の行政機関を一カ所に集め、またそこで働く人々の住居も集中させての仕事の効率化を図るだけではなく、さらに美しい景観を持つ街並みを形成し都市ものを観光化資源としている。一方でそれによりクアラルンプール中心部の経済発展を促進する、という効果も編み出している。アジアの歴史的な学習やマラッカ海峡を有するなど世界的にも重要な役割をはたしている国であることや、また多言語の国であるため、共通語として英語が公用語として広く使われてことなどもあり、海外研修国として最適な国の1つといえる。

- ①SMK SEKSYEN 1, BANDAR KINRARA との学校交流・協定締結について
- ②世界文化遺産マラッカなど史跡見学、マラッカ海峡見学
- ③王宮、新行政都市マハラジャヤ見学
- ④イスラム教モスク、中国寺院、ヒンズー寺院など見学
- ⑤ショッピングセンターなど市内散策
- ⑥マレーシア伝統芸能鑑賞、伝統文化体験など

○ 今後の学校行事について

- ①第1ブロック音楽祭
- ②フレンドリーコンサート
- ③卒業演奏会
- ④高大連携講座（箏楽、ギター）
- ⑤芸術発表会など

(3) 第1回授業アンケートについて

(生徒の取組・生徒理解・授業計画・教材活用・授業展開・授業分析・生徒の意識)について
4段階で回答(4 よくあてはまる、3 ややあてはまる、2 あまりあてはまらない、1 まったくあてはまらない)

- ①平均的に各教科とも3近くある。肯定的な意見が多い。
- ②レーダーチャートを見ると、どの教科も各項目とも学校平均である2.89近くに重なっていて、ばらつきが少ない。
- ③特に芸術科の音楽が平均を大きく上回っているのが特徴である。音楽専門コース生が授業に真面目に取り組んで成果を上げていることがわかる。

(全体をとおして)

〈協議会委員の意見・提言〉

- 日頃の学校での生徒の充実した取り組みの様子がよくわかって良かった。
- 生徒は守ってあげたい。
- 生徒の授業アンケートでは、先生個人の情報の開示という問題がある。信憑性の問題もあり取り扱いが難しい。全体的な傾向はつかめる。
- 中学校でも授業アンケートで生徒の意見を先生にどう伝えるかが大切である。
- キャリア教育で実践の中身が大切だということが分かった(高い成果を上げている)。大学に行かなくても立派に進路につながっていることは誇れる。今後中学生にも話をして進路について考えていかなければならない。
- 取り組みが充実している。生徒は夢をもって、しっかり育ってきている。
- 音楽を学んで活動の中で、それを発揮している。
- 本校がなくなるといのは残念。今後いろいろな取り組みの中で学校が続くように願っている。

8 お礼の挨拶 校長 辻 芳之

今後もさまざまな課題が考えられるが、皆さんのお力添えで解決していきたい。

9 閉 会 事務局長 教頭 田畑 匡

今後の日程について、次回下記のとおり開催したいと思います。

(第3回協議会開催日程 平成27年2月19日(木) 10時～12時)